



今年も残すところ1か月となりました。2学期も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度のようにたくさんの体験活動はできませんでしたが、状況を見ながらできることを実施してきました。

特にスポーツや手話教室などでは、バレーボールをレシーブできるようになったり手話を覚えたりすることで、一人一人が自信をつけてきました。また、人と関わることを通して成長していく様子が見られました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

毎日、はばたき教室に様々な思いをもって来室する子どもたちですが、後1か月になった令和2年が心に残る年になるように、落ち着いて過ごさせたいと思います。

### ◆ 2学期の定期テストに向けて

中学校では、11月中旬から定期テストがありました。学校に行けていない子どもたちにとって、学校に行ってテストを受けることはとても勇気のいることです。

「テストを受けることができるだろうか?」「テストの点も悪いだろうか?」「学校で友達に声をかけられたらどうしよう?」などと、テストが近づくと、あれこれ心配をしている子どもたちを見て、プレッシャーで押しつぶされないかと心配でした。

しかし、子どもたちは「大丈夫!学校でテストを受けられただけで◎。」と、本当は心配しながらも自らが答えを出して友達と会話をしていました。何より心が成長したなと思いました。午前中の学習も、テスト範囲を見ながら少し緊迫感をもって取り組んでいました。これからも、一つ一つの体験を通して心をたくましくして行ってほしいと思います。

### ◆ 郊外学習 ～野外活動で「火起こし体験」～

10月29日(木)、秋晴れの中、えひめ森林公園で野外活動を行いました。今年のメインとなる活動は、「火起こし」。「まいぎり式火起こし器」を使って火を起こし、その火を使ってカレーライスを作ろう、というのが今年の野外活動でした。

キャンプ場の炊事棟で飯盒炊飯とカレーの下ごしらえをした後、いよいよ火起こし作業です。

全員で火起こし器の使い方を確認した後、それぞれが適当な場所に分かれて火起こしを行いました。火種を受けるものは、紙よりも火がつきやすい麻ひもを細かくほぐしたものを使用しました。子どもたちは、初めなかなかうまくリズムがとれず、苦勞をしていましたが、時間がたつにつれて、軸となる棒を連続してうまく回転させることができるようになりました。10分、20分と作業を続けますが、なかなか火はつきません。やがて、道具に慣れてきた者から徐々に煙が出始めます。でも、火種までにはなってくれません。結局、30分以上挑戦し、煙が出て「もうちょっとで火種ができそう。」となった者はいましたが、「火がついた!」というところまでには至りませんでした。

残念ながら、今回は自分たちで火を起こすことはできませんでした。しかし、火を起こすことの大変さや、普段の生活の中で当たり前にある火のありがたさ、また、過去人類がどれほど苦勞して火というものを獲得していったのかを、身をもって学



まいぎり式火起こし器



みんなで火起こしに挑戦



煙は出るけれど…

ぶ機会になったのではないかと思います。

子どもたちは、その後、文明の利器「マッチ」を使ってかまどに火をつけ、おいしいカレーライスを仕上げました。少し疲れたけれど、楽しい1日を過ごせたようでした。

参加した子どもたちの感想の一部を紹介します。

- 私は、この野外活動を通して仲間と協力する大切さを学びました。・・・この日一番楽しみにしていた火起こしでしたが、テレビで大人が必死に起こしていた理由がよく分かるほど大変なものでした。結局火は起こせず、とても悔しい思いをしました。またトライしたいです。・・・楽しい1日になり、よかったです。
- ・・・飯盒炊飯では火の番をしました。今まで火が消えないように木片を足す経験はありましたが、一から燃やしたことはなかったので、楽しかったです。ご飯は少し焦げてしまいましたが、おいしかったです。・・・
- ・・・遊歩道「たんれんコース」をうまく登ることができ、1年生の時に比べてかなり体力がついていると感じました。・・・自然は気持ちよかったです。

### ◆ 自己表現ゲーム

はばたき教室の子どもたちは、昼休みに「アンゲーム」というコミュニケーションを深めるゲームをしています。カードをめくって、カードに書いてある質問に答え、周りの友達に答えを真剣に聞きます。例えば「あなたの一番好きな食べ物は何か?」のカードを引いたAさんは「僕はグラタンが好きです」と答えたとします。他の友達は、Aさんの一番好きな食べ物はグラタンだと知り、Aさんのことを少しずつ知っていきます。

このゲームのねらいは、自分のことを友達の前で話せるようになること、また、友達の話を聞いて友達のことを知り、友達を理解していくことです。

ゲームを通して友達との会話が生まれ、お互いの信頼関係ができていきます。会話をすることが苦手だった子も、質問に答えることで話ができるようになっていきます。継続してやっていきたいと思っています。

令和2年度(12月)はばたき教室行事等実施計画

日	曜	行 事 関 係	日	曜	行 事 関 係
1	火	目標づくり スポーツタイム(13:00-14:20)	16	水	手話教室(13:15-14:00)スポーツタイム(14:10-15:20)
2	水	手話教室(13:15-14:00)スポーツタイム(14:10-15:20)	17	木	集中タイム
3	木	図書館訪問	18	金	はばたき昼食 野外レク
4	金	野外レク	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	ふれあいタイム
7	月	ふれあいタイム	22	火	調理実習
8	火	スポーツタイム(13:00-14:20)	23	水	スポーツタイム(13:00-14:20)
9	水	スポーツタイム(13:00-14:20)	24	木	俳句づくり レクリエーション
10	木	個別懇談	25	金	第2学期終業式 チャレンジデー 午後休業
11	金	個別懇談	26	土	冬季休業開始
12	土		27	日	
13	日		28	月	午前中教室開放
14	月	ものづくりタイム	29	火	閉庁
15	火	スポーツタイム(13:00-14:20)	30	水	閉庁
			31	木	閉庁

不登校に関する相談は、はばたき教室に電話をされてから、お越しください。

TEL 089-989-5022 直通の携帯 080-2974-4581